

**2023年 御返地小学校 3.4年生**

# **劇 「ぼくらの仕事」**

( )年 名前( )

登場人物

案内役のうさぎ（女子），くま，きつね，たぬき，しか（女子），あかげら（女子），ふくろう，

こうた，ようすけ，みほ（女子） 森の精（女子）

一幕一場 案内役	（ステージ上手にうさぎ出てくる） みなさん，こんにちは。 わたしは，このげきの案内役のうさぎです。 さて，ここは，二戸市の山の中。 いろいろな生き物がくらしています。 （幕 開ける，うさぎはける）
一幕二場	（みんな，出てくる）
ふくろう	みんなおはよう。
他のみんな	ふくろうさん，おはようございます。
きつね	みんな，今日は何して遊ぶ。
たぬき	かくれんぼしようぜ。
くま	いいね，やろう，やろう。
しか	だれが鬼？
あかげら	じゃんけんしましょう。
みんな	じゃんけん，ポン。
きつね	わあ，ぼくが鬼だ。
たぬき	いつも一番に見つかっちゃうから，今日こそ，見つからないところにかくれるぞ。
ふくろう	いいかい，くれぐれも赤い木よりも向こうに行っちゃいかんぞ。
みんな	はあい。
きつね	一，二，三，四，五，六，七，八，九，十。（三ぐらいから声を落とす） （ステージ下）
しか	たぬきくん，どこにかくれるの。
たぬき	いつもより，もっと遠い所にしようと思ってる。
しか	でも，これ以上先は，人間がいるから行っちゃいけないって言われてると こだよ。
たぬき	だいじょうぶだよ。人間も見えないし。

しか たぬき	ええ、でも・・・。 だいじょうぶ、しかくんはそこらへんにかくれなよ。ぼくはこの先の方に行ってみる。(上手の方へ)
うさぎ	(ステージ上手にうさぎでてくる) あれあれ、たぬきさんは、ここから出て行っちゃだめだよっていう方に行っただけですね。だいじょうぶかなあ。 (うさぎはける)
きつね みんな	(二人の会話が終わったら) もういいかい。 まあだよ。
きつね みんな	もういいかい。 もういいよ。 (きつね、見つけ始める)
きつね くま	くまさん、みいつけた。 ぼくが一番最初か。
きつね あかげら	あかげらさん、見つけた。 あら、みつかったわ。ここなら見つからないと思ったのに。
くま きつね	うん、木の上は、なかなか見つからないと思うよ。 あとはしかさんとたぬきさんか。
あかげら	二人ともどこかなあ。 (三人で、ステージ下へ降りる)
きつね しか くま しか あかげら みんな	あ、しかさんみいつけた。 見つかった。これで全員？ いや、まだたぬきさんが見つかってないんだ。 え、たぬきさん？ もう少しさがしてみよう。 そうしよう。 (しか、たぬきが行った方を見てから、みんなについていく) (幕を閉める)
一幕三場 うさぎ	(うさぎ、ステージ上手に出てくる) さて、みんなは、たぬきさんをさがしています。それでは、たぬきさんの様子を見てみましょう。
たぬき	(たぬき、ステージ下上手から出てくる) どこがいいかな。
森の精	(森の精、ステージ下手に出てくる) (歌) とおりゃんせ、とおりゃんせ。

	<p>ここはどここの細道じゃ。  森の奥の細道じゃ。  ちいと通してくだしゃんせ。  ご用のない者、通しゃせぬ。  いきはよいよい、帰りはこわい。  こわいながらも、通りゃんせ、通りゃんせ。  (森の精、歌い終わったらはける)</p>
たぬき	<p>このへんなら、きっと見つからないぞ。  (草の後ろにかくれようとして)</p>
	<p>いててて、なんだこれ、あ、わなだ。ちきしょう、とれないよ。  だれか助けてえ。  (うさぎ、ステージ上手に出てくる)</p>
うさぎ	<p>ああ、たぬきさんは、人間がしかけたわなにつかまっちゃったようですね。  でも、森のみんなには聞こえませんか。どうなりますかね。  あ、だれか来たようですよ。(うさぎ、ひっこむ)  (三人、ステージ下、上手から出てくる)</p>
こうた	<p>あ～あ、なかなか、見つからないね。</p>
ようすけ	<p>だれだよ、まぼろしのカブトムシがいるってさわいでたのは。</p>
こうた	<p>大きなかぶとむしがいるって、じいちゃんと言ってたから・・・。</p>
みほ	<p>まあまあ二人とも、けんかはやめて。それより、何か音がしない？</p>
こうた	<p>そういえば、何かがちゃがちゃ音がするなあ。</p>
ようすけ	<p>ああ、たぬきがわなにかかっている。ラッキー、今夜はたぬきなべだな。</p>
こうた	<p>いやいや、かわいそうに、にがしてやろうよ。</p>
みほ	<p>そうよ、動物は助けてあげなきゃ。</p>
ようすけ	<p>虫はよくて、動物はかわいそうなのかよ。</p>
みほ	<p>そういうわけじゃないけど、私たちはカブトムシをとろうとして山に来たんだから、たぬきをつかまえることはないんじゃない。</p>
ようすけ	<p>あーあ、たぬきじる食いそこねた。  で、どうやって助ける？</p>
こうた	<p>何か太い枝ないかな。それをかませて、足はずしてやろう。</p>
みほ	<p>さがしてくるね。  (ようすけとみほ、さがしに行く。しばらくして、太い木の枝を持ってくる)</p>
ようすけ	<p>これでどうだ。</p>
こうた	<p>いいんじゃないかな。よいしょっと。  うまくいった。はずれたよ。  (たぬき、足を引きずりながら、3人にぺこりとおじぎをして、下手へ帰っていく)</p>

みほ	よかった。 (ステージ上手にうさぎ出てくる)
うさぎ	たぬきさんもなんとかたすかったみたいでよかったですね。 (うさぎ, ひっこむ)
ようすけ	よし, んじゃ, カブトムシさがしつづけようぜ。 (幕が開く)
二幕一場 こうた	うん, そうしよう。(ステージ上手側の階段からのぼり, 下手側へ移動したら)
ようすけ	まぼろしのカブトムシみつけようぜ。
こうた	そうなんだけど, すいぶん森の奥深くに入ってきてない。
ようすけ	だいじょうぶだよ。それより, 木がいっぱいで, カブトムシいそうじゃね。
みほ	そうね, でも, なんだかこわいわよ。
ようすけ	だいじょうぶ, だいじょうぶ。あ, あの木に何かいる。 (手を伸ばす。)
こうた	あ, そこ, がけになってるよ。(手をつかもうとするが二人でマットの坂をすべり落ちる。背景が森の中のがけにかわる)
ようすけ	ああ, いてえ。
みほ	こうたくん, ようすけくん, だいじょうぶ?
ようすけ	ああ, かすりきずかな。
こうた	ぼくの方もかすりきずぐらいかな。それよりすいぶん下まで落ちちゃったね。
ようすけ	ああ, ちょっとやさっとじゃのぼれないな。
こうた	どうしよう。こわいよ。
ようすけ	ま, 持ってきたお菓子でも食って落ち着こうぜ。あとのことは食べてから考えよう。
みほ	あたし, 助けをよんでくる。(上手に走っていく)
ようすけ	おい, ちょっと待てよ, おい。行っちゃったよ。こんな山の中で, 道にまよったらどうするんだよ。
こうた	そうだね, みほちゃんが心配だ。 (幕が閉まる, 男の子二人も下手へはける) (ステージ上手にうさぎ出てくる)
うさぎ	さあ, 山の中ですべり落ちた二人と助けをよびに行ったみほちゃん。どうなるのでしょうか。 このさわぎを聞いて, 森の動物たちが集まりました。 (うさぎひっこむ, 幕が開く。背景は森の中)
三幕一場 ふくろう	さて, みんなあの子たちをどうするか。

くま	ほっとけばいいんだ。人間なんてろくなもんじゃない。人間が木をたくさん切るんで、木の実がさっぱりとれなくなった。
あかげら	そうそう、あたしも木を切られて、巢にできる木がへっちゃったわ。
きつね	それに、山に道路なんか通すからあっちの山に行けなくて大変だよ。
しか	あたしの仲間は、この前車にひかれちゃった。
ふくろう	だから、あの子たちをこのままにでもいいということだな。どうしたぴょん太、何か言いたそうだな。
たぬき	実は、さっき、おれ、あの子たちに助けられたんだ。
しか	やっぱり、何かあったのね。
たぬき	ああ、ぜったい見つからないところにかくれようと思って、行っちゃいけないほうまで行ったんだ。そしたら人間がしかけていたわなに、はまっちゃって。こまっていたら、あの子たちが助けてくれたんだ。
くま	そうだったのか。どうりで見つからないわけだ。
ふくろう	あのへんには近よるな、とあれほど言っていたのにな。ま、今さら言っても始まらないな。さて、それではどうする、みんな。
たぬき	おれはあの子たちを助けたい。おれも助けてもらったから。
くま	ぴょん太がそういうんじゃない、しょうがないな。
きつね	それじゃ、みんなで人助けと行こうか。
ふくろう	それではそうしよう。ぴょん太、あの子たちをここへ連れておいで。 (ぴょん太、上手へ走っていく)
森の精	森の精さん、あの女の子をここへ連れてきてくれるかな。
ふくろう	はい。わかりました。(下手へはける) あとは、みんながそろってからじゃな。 (幕がしまる)
三幕二場	(男の子二人マットの上に出てくる)
こうた	この辺、歩き回ったけど、どっちに行ったら帰れるのか、わからないね。
ようすけ	そうだな、どうしたもんかな。 (ステージ下上手からぴょん太出てくる)
こうた	あ、あの時のたぬきかな。
ようすけ	ああそうだ、びっこひいてるし。
こうた	なんだか、ついてこいって言ってる気がする。
ようすけ	そういえば、そうかな。行ってみるか。
こうた	うん。行ってみよう。 (ぴょん太についていく)
みほ	(下手ステージ上に森の精あらわれる、みほステージ下上手から出てくる) どうしよう、道に迷っちゃった。

森の精	歌) 通りゃんせ, 通りゃんせ ここはどこの細道じゃ 森の奥の細道じゃ
みほ	何, あなたはだあれ
森の精	わたしは, 森の精。あなたをむかえに来ました。
みほ	わたしをむかえに? どこにつれていくの?
森の精	こうたさんとようすけさんのところへ。
みほ	二人とも無事なの?
森の精	はい, お元気ですよ。今ごろは, ぴょん太がむかえにいらしていますよ。
みほ	そうなんだ, よかった。それじゃあ, わたしもつれてってください。
森の精	はい, それではわたしについてきてください。 (二人とも下手へはける)
四幕一場	(幕があく) (動物たちそろっている, そこへ上手からこうたたち, 下手からみほが入ってくる)
みほ	あ, 二人とも無事だったのね。よかったあ。
こうた	みほちゃんも, 無事でよかった。道に迷ってるんじゃないかと心配だったんだ。
みほ	うん, 道に迷ってたところを, この森の精さんに助けてもらったの。
ようすけ	そうか, おれたちも, あのたぬきに助けられたんだ。
みほ	そうなんだ, でも本当によかった。みんなそろって。
こうた	そうだね, 本当によかったよ。それで, ここはどこなんだろう。
ふくろう	ここは, 森の奥にある聖域じゃ。
ようすけ	ふくろうがしゃべった!
ふくろう	さよう, ここは, 聖域じゃから動物も人間もお互いの言葉が分かるんじゃ。
こうた	そうなんだ。それで, みんながぼくたちをここへ。
ふくろう	ああ, そうじゃ。うちのぴょん太が, 三人に言いたいことがあるそうだ。
ぴょん太	さっきは, わなにかかったところを助けてくれてありがとう。おかげで食べられずにすみました。
動物みんな	本当にありがとう。
こうた	どういたしまして。でも, ぼくたちもほめられたものじゃないよ。でっかいカブトムシをねらってたんだから。
ようすけ	そうそう, けっきょく一匹もとれなかったけどね。
ぴょん太	それでも, ぼくの命は助けてくれた。
ふくろう	ぴょん太が助けられたから, あんたらも助けることになったんじゃ。さいしょは, 人間なんかほっとけばいい, という話もあった。

ようすけ	ええ、そうなの。
ふくろう	まあ、すわんなさい。(みんながすわったのをかくにんしてから)人間は、われわれの生活をおびやかしているからの。
きつね	木を切ったり、道路なんか通すから、おれたち大変なんだよ。
こうた	それは、道路があった方がべんりだし。
くま	そういえば、なんかでっかいかざぐるまみたいなのもできたよな。
ようすけ	風力発電所のことかな。折爪岳ところに11基、たてられたね。
あかげら	あれはでっかいし、作るのに木をいっぱい切られた。その前に道路を作るのでも木を切られたし。
こうた	でも、あの風力発電所で電気が作れるようになると、地球温暖化を少しふせげるんだ
きつね	地球温暖化って何？
みほ	地球は温室こうかガスっていううすいまくでおおわれてるの。その温室こうかガスがふえてきているの。この150年で、地球の温度が1℃あがっているわ。
しか	たった1℃がどうしたの。
こうた	そのたった1℃あがっただけで、いろんな問題が起きているんだ。
ようすけ	最高気温がどんどんあがっている。それにつれて熱中症になる人がふえている。熱中症で亡くなる人も増えている。桜の開花日も速くなっている。
たぬき	そういえば、今年は桜がとっても早く咲いたな。
こうた	それに、北極の氷がとけてシロクマたち生き物がこまっているし、日本の周りの魚のとれかたも変わってきているそうよ。
くま	うわ、やっぱり生き物がこまってるのか。
ようすけ	そしてこのままいくと2100年には、気温が5℃上がると言われている。
きつね	たった1℃でこんなしょうたいなのに、5℃も上がったらどんなことになるんだろう。
ふくろう	人間だって、何もしとらんわけじゃないんじやろう。
ようすけ	そう、2016年にCOP(コップ)21っていう国連の枠組みの会議で、気温の上昇をなんとか2度までにおさえましょうって決めたんだ。
みほ	それにSDGsという2030年までの世界の目標の中にも、地球温暖化について取り組みましょうって決めてるわ。
あかげら	それと、さっきの風力発電所がどう関係あるの？
こうた	ぼくたち人間が生活するのに、電気はかせないものなんだ。その電気を今は大部分を火力発電所で作っている。
ふくろう	火力発電所というのは、石炭や石油、天然ガスをもやして電気を作る所じやな。
こうた	そう。そこから出る二酸化炭素が一番、地球温暖化に関係している。だから、火力発電所でなく、再生可能エネルギーとよばれる、太陽光発電、水



きつね ようすけ	力発電、風力発電、バイオマス発電をふやしていこうとしているんだ。だから、この辺にも風力発電所っていうのができたのか。
たぬき みほ	そう、その通り。地球のことを考えて、作っているんだけど、それが、森のみんなにはめいわくになってるんだよな。
こうた	人間たちのそういう考え方はわかって、ほくたちの生活もあるからね。風力発電所のそばでは、自然パトロールの人たちが、生き物に悪い影響が出ていないかも調べているんだけど・・・。
ふくろう	それに、この前森林学習で教えてもらったんだけど、森は二酸化炭素をすって酸素を出してくれるんだ。だから木を切ったら、そこには植林をして新しい森を育てていく活動もしている。
ようすけ	なるほど、森を育てたり、再生可能エネルギーを使ったりして、地球のため、ここに暮らす動物や人間のために考えておるんじゃないな。
くま みほ	ああ、人間は動物のことを考えていないわけじゃない。みんなのことも、自分たちのことも、そして地球のことも考えているんだ。
あかげら こうた	それはちょっと見直した。人間も捨てたもんじゃないな。そう言ってくれるとうれしいわ。夏休みに取り組んだ、「地球温暖化をふせごう隊のエコチャレンジ」で、クラス全体でCO <sub>2</sub> を kg へらしたのよ。
ようすけ、みほ 動物たち	それもすごいわ。ほくたちが大人になるころには、もっともっと地球のこと、森のこと、生き物たちのことが大事にされていると思う。というか、ほくたちがそういう未来を作っていかなきゃならない。
	そうだな、そうね。
	わたしたち、ほくたちもできることをするよ。
	全員で「ぼくらの仕事」を歌う。
ふくろう	今日は、とってもいい話ができたわい。森の精に送らせよう。気をつけて帰るんじゃぞ。
三人 動物たち	はい、ありがとうございます。さようなら。 さようなら。 (幕がしまる) (上手、下手それぞれのステージ下から出てきてならぶ。)
うさぎ	これで、34年生のげきは終わりです。劇でもお伝えした通り、地球温暖化は、今、待ったなしの状態です。だから地球の未来は私たちが変えていきます。
みんな	変えていきます。ありがとうございました。

	(礼, そして退場)
--	------------

用意するもの

木 (二つ) 切り株 草 (三つ) わな 虫取りあみ (2本)

頭にかぶるお面 (うさぎ, くま, きつね, たぬき, しか, あかげら, ふくろう)

ステージ後ろのスライド (森の中, 森の中のがけ, 高速道路, 風力発電所, 北極のシロクマ, 桜, 森の中, 地球)